

(コメント)

ALPS 処理水の処分に関する基本方針の着実な実行に向けた関係閣僚等会議（第 7 回）および
廃炉・汚染水・処理水対策関係閣僚等会議（第 7 回）の開催を受けて

2024 年 8 月 30 日

東京電力ホールディングス株式会社

本日（8 月 30 日）、「ALPS 処理水の処分に関する基本方針の着実な実行に向けた関係閣僚等会議（第 7 回）」および「廃炉・汚染水・処理水対策関係閣僚等会議（第 7 回）」が開かれ、「ALPS 処理水の処分に関する基本方針の実施状況と今後の対策の方向性について」ならびに「東京電力福島第一原子力発電所における廃炉作業の進捗状況について」の確認がなされました。

福島第一原子力発電所の ALPS 処理水の海洋放出は、2023 年 8 月の放出開始以降、国際基準に則った国内基準に従い、人体や環境への安全を十分に確認したうえで、計画通り実施しております。

廃炉作業の一環である ALPS 処理水の海洋放出は、長期にわたる持続的な取り組みです。引き続き、「安全・品質の確保」、「迅速なモニタリングと正確な情報発信」、「IAEA レビューを通じた透明性の確保」、「水産物の消費拡大と流通対策」、「損害発生時の適切な賠償」に、社を挙げて、緊張感をもって取り組み、実施主体としての責任を果たしてまいります。

また、福島第一原子力発電所の廃炉は、国の中長期ロードマップで示された「30～40 年での廃止措置終了」を目標に、汚染水対策や廃棄物対策など、足元の作業を一つひとつ計画的に積み上げております。具体的には、向こう 10 年の廃炉作業の段取りを「廃炉中長期実行プラン」として取りまとめ、廃炉の進捗や新たに把握された課題に応じて、これを定期的に見直しながら、廃炉作業を安全第一で進めております。

なお、8 月 22 日に作業を中断した 2 号機の燃料デブリ試験的取り出し作業につきましては、経済産業大臣から今回の作業中断に関する要因と必要な対策に係る指示を受け、現在取りまとめを進めております。地域の皆さまをはじめ、広く社会の皆さまにご心配をおかけする結果となり、お詫び申し上げます。

当社は、引き続き、福島第一原子力発電所の廃炉・処理水等対策を、安全を最優先に、着実に進めるとともに、地域の復興に向け、「福島への責任」を貫徹してまいります。

以 上